

予算決算委員会総務政策分科会会議録

招 集

令和4年9月26日（月）午前10時 議場

出席委員（9名）

（分科会長）岡 田 啓 介 （副分科会長）今 城 雅 子
伊 藤 ひろえ 稲 田 清 奥 岩 浩 基 徳 田 博 文
松 田 真 哉 森 田 悟 史 渡 辺 穰 爾

欠席委員（0名）

出席した事務局職員

松下局長 田村次長 長谷川議事調査担当係長 田中庶務担当係長

傍 聴 者

安達議員 岩崎議員 大下議員 門脇議員 田村議員 塚田議員 津田議員
戸田議員 錦織議員 西野議員 又野議員 森谷議員 矢田貝議員 吉岡議員
報道機関 3社 一般2名

説明のため出席した者

伊澤副市長

【総務部】永瀬部長 辻統括調整官 佐小田防災安全監

[秘書広報課] 角課長

[総務管財課] 松本課長 柄川総務担当課長補佐

[防災安全課] 大野原課長 西畑主査兼地域安全担当課長補佐 田中危機管理室長

[調査課] 足立課長 宇山課長補佐兼行財政調査担当課長補佐 泉原担当課長補佐

[職員課] 伊藤課長 久保担当課長補佐

[財政課] 長谷川次長兼課長 大塚課長補佐兼総括主計員

[契約検査課] 福田課長

【総合政策部】八幡部長

[総合政策課] 堀口次長兼課長

[交通政策課] 倉本課長 山根課長補佐 石上係長

【淀江振興本部・淀江支所】中久喜本部長兼支所長

[淀江振興課] 山浦課長 山川課長補佐兼振興担当課長補佐 本田事業担当課長補佐

審査事件

議案第76号 令和4年度米子市一般会計補正予算（補正第4回）のうち当分科会所管部分

~~~~~

### 午前10時00分 開会

○岡田分科会長 ただいまより予算決算委員会総務政策分科会を開会いたします。

本日は、13日の本会議で予算決算委員会に付託された議案のうち、当分科会の審査担当とされました議案1件について審査いたします。

初めに、議案第76号、令和4年度米子市一般会計補正予算（補正第4回）のうち、総合政策部所管部分を議題といたします。

当局の説明を求めます。

堀口総合政策部次長。

**○堀口総合政策部次長兼総合政策課長** 今回の令和4年度補正予算につきまして、総合政策部関係を一括で説明いたします。

歳出予算の事業の概要のまず2ページをお開きください。2ページ上段、淀江保育園跡地活用事業として423万2,000円を計上しております。これは、旧淀江保育園及び旧淀江幼稚園の跡地利用に向けた整備を進めるため、敷地内の樹木の伐採及び建物の石綿含有調査を行うものでございます。

続きまして、3ページを御覧ください。3ページ下段、Y-MaaS実証実験として300万円を計上しております。これは、スマートフォンアプリを活用したバス運賃のキャッシュレス決済の取組でございまして、これまで定額運賃の決済に関する実証実験を行ってきたところですが、この取組を一步進めて、区間制運賃の決済の実証実験を行うものでございます。説明は以上でございます。

**○岡田分科会長** 当局の説明は終わりました。

委員の皆様からの質疑、御意見を求めます。

森田委員。

**○森田委員** Y-MaaS実証実験のところなんですけれども、昨年度も似たような事業があったんじゃないかなと思ってまして、区間制運賃等に関する実証実験を行うということで、システム自体を再構築されるため、結構お金がかかるっていうような認識でよろしかったでしょうか。

**○岡田分科会長** 倉本交通政策課長。

**○倉本交通政策課長** そのとおりでございまして、今現在、スマートフォンのアプリ上で電子チケットを販売するという形を取っておりますけれども、その仕組みを活用しまして、区間制の運賃の計算をさせるように改造するというものでございます。以上です。

**○岡田分科会長** 森田委員。

**○森田委員** スマートフォンのアプリを利用するということだったんですけれども、iOS端末、アンドロイド端末、どちらでも利用できるというような認識で問題なかったでしょうか。

**○岡田分科会長** 倉本課長。

**○倉本交通政策課長** 今、委員さんおっしゃられたとおり、両端末で使える仕様となっております。

**○岡田分科会長** 森田委員。

**○森田委員** ありがとうございます。昨年度の実証実験の際に利用者が少なかったというような話もあったと思うんですけれども、その辺の原因をどのように捉えて、今年度どのような広報活動をなさるのか、現段階でもしあれば教えていただけたらと思います。

**○岡田分科会長** 倉本課長。

**○倉本交通政策課長** 今現在までやってきてる実証実験というのは確かに委員さんおっしゃられるように利用者が少なかったということで、その理由ですけれども、委員会のほう

でも説明させてもらいましたけど、やはりコロナの影響というのはかなりあったというふうに認識しております。

それで、今回、区間制運賃のほうの実証実験でございますが、これは利用者をどんどん増やしていこうというのも、当然、それは目的の一つではあるんですけども、正しい区間、乗って降りてってというような、その区間での計算をうまく正確にできるかっていうところが主眼ですので、ただ単に利用者を今回は増やしてってということはちょっと考えていなくて、正確に運賃が計算できるというところを実証していきたいというふうに思います。以上です。

**○岡田分科会長** 森田委員。

**○森田委員** 実証実験っていうところもあるので、利用者を増やすというところが目的じゃないっていうのは分かるんですけど、ある程度の利用者がいないとデータが取れないんじゃないかなと思うので、その辺りはどうなのかなっていうのがちょっと気になったんですけど、いかがでしょうか。

**○岡田分科会長** 倉本課長。

**○倉本交通政策課長** それはおっしゃるとおりで、データが取れないと実証実験になりませんので、そこら辺はよく考えて進めてまいりたいと思います。以上です。

**○岡田分科会長** いいですか。

そのほかありませんでしょうか。

〔「なし」と声あり〕

**○岡田分科会長** ないようですので、以上で総合政策部所管部分の審査を終わります。

予算決算委員会総務政策分科会を暫時休憩いたします。

**午前 10 時 05 分 休憩**

**午前 10 時 12 分 再開**

**○岡田分科会長** 予算決算委員会総務政策分科会を再開いたします。

議案第 76 号、令和 4 年度米子市一般会計補正予算（補正第 4 回）のうち、総務部所管部分を議題といたします。

当局の説明を求めます。

長谷川総務部次長。

**○長谷川総務部次長兼財政課長** そういたしますと、議案第 76 号、令和 4 年度米子市一般会計補正予算（補正第 4 回）のうち、総務部所管の補正予算につきまして御説明いたします。説明資料といたしましては、令和 4 年度 9 月補正予算の歳出予算の事業の概要を御覧ください。

1 ページ目でございます。1 ページ目、上の段、災害対策事業といたしまして 310 万 3,000 円を計上しております。これは防災意識の向上を図ることを目的に、市民が自らの避難を考えるツールとして避難ノートを作成し、配付するものでございます。

次に、同じく下の段でございます。暴力追放センター支援事業としまして 60 万円を計上しております。これは暴力追放に関する広報啓発及び被害者の相談、支援を行う公益財団法人鳥取県暴力追放センターに対し補助を行うものでございます。

続きまして、2 ページをお願いいたします。2 ページの下の段の財政調整基金積立金、それから、次のページの上の段でございますけれども、減債基金積立金（財政課）といた

しまして、それぞれに3億8,900万円ずつを計上しております。これは、令和3年度一般会計の決算剰余金15億5,464万1,000円のうち、2分の1を下らない額につきまして、剰余金処分としてそれぞれの基金に積み立てるものでございます。なお、これによりまして、令和4年度末の基金残高は財政調整基金が30億330万1,000円、減債基金が18億1,255万4,000円となる見込みでございます。

続きまして、資料が変わりますが、予算書をお開きください。予算書の22ページでございます。予算書の22ページに、債務負担行為の調書がございます。この22ページ、債務負担行為調書の一番上の欄でございます。鳥取県西部総合事務所新棟・米子市役所糶町庁舎整備等事業費につきまして、限度額3,600万円で、期間を令和5年度とする債務負担行為を追加して設定するものでございます。本整備事業につきましては、令和2年度に契約をしておりましたけれども、その後の新型コロナウイルス感染症、それから、国際情勢の変化などに伴います資材価格や人件費の高騰に伴いまして、契約金額を増額変更するものでございます。説明は以上です。

**○岡田分科会長** 当局の説明は終わりました。

委員の皆様からの質疑、御意見を求めます。

奥岩委員。

**○奥岩委員** 災害対策事業についてなんですけど、これ、避難ノートっていわゆるマイ・タイムラインのことですよ。

**○岡田分科会長** 大野原防災安全課長。

**○大野原防災安全課長** 避難ノートについての内容ということでございますが、おおむね全体20ページ程度の書き込み式の小冊子を想定しておりまして、この内容につきましては、委員さん御指摘のとおり、マイ・タイムラインの避難シート、こちらの中に入れてはございますが、全体的には知識を習得したりとか、あと、個人で避難行動を判定するために考えていただく、あるいは自分がどういったものを備えていくか、あるいは自分の周りにどういった危険な箇所があるかといったことをそのノートを見ながら考えていって、書き込みしていただいて、自分事として捉えていただく、そういったノートを想定しておるところでございます。以上です。

**○岡田分科会長** 奥岩委員。

**○奥岩委員** ありがとうございます。失礼しました。

そういたしますと、配付をしていただいて、実際に書き込んでいただいて、イメージをつけていただくっていうので、ぜひぜひ推進していただきたいんですけど、ちょうど先日、市内で防災フェスタっていうのがありまして、いろいろなところと協力されての開催だったと思うんですけど、私も出させていただいたんですけど、災害が起きたらどうなるかとか、実際どういうふうに動いていこうかっていうのが非常に分かりやすいようなものもありましたので、この事業はこの事業でぜひ推進していただいて、ああいった民間さんとかほかの団体さんといいますか、いろいろな事業団体さんとも協力しながら、イメージのつきやすいように、実際に本当に災害になるとこうなるんだっていうイメージのつきやすいような事業もまた引き続き検討していただけたらと思います。以上です。

**○岡田分科会長** そのほかありませんでしょうか。

渡辺委員。

○**渡辺委員** 一つお伺いしたいんですけど、暴力追放センター支援事業、新規ですよ、事業としては。これは、毎年、要するに補助をされてるでしたっけ、そこはお聞きしたいんですけど。

○**岡田分科会長** 大野原防災安全課長。

○**大野原防災安全課長** こちらの事業につきましては、令和4年の3月に、市内にございます暴力団事務所、こちらの使用差止めに係る仮処分の申立てを行われて、その裁判費用の一部を補助するといった事業でございます。以上です。

○**岡田分科会長** 渡辺委員。

○**渡辺委員** この事業査定状況を読むとそういうふうに見えるんですよ、訴訟費用の補助、一部を補助するといんですけど……もう説明がありましたんで、多分そういった訴訟があったんで今回補助するんだろうなとこっちのほうから見ては分かるんですけど、こっちの説明では分かりにくかったんで。了解いたしました。

○**岡田分科会長** そのほかありませんでしょうか。

森田委員。

○**森田委員** 災害対策事業のところなんですけど、避難ノート印刷予定部数が4万7,000部となっているんですけども、全世帯配付はしないというような方向性なのかちょっと確認をしたいと思います。

○**岡田分科会長** 大野原課長。

○**大野原防災安全課長** 委員さん御指摘のように、今のところ4万7,000部の印刷を想定しておりまして、実際、3月末までには広報よなごと同じルートで配付する予定にしております。したがって、広報よなごが届かない市民の方には配付には行き渡りませんが、市内の公民館あるいは公共施設等に設置することによって手に取っていただきたいと、そのように考えております。

○**岡田分科会長** 大野原課長。

○**大野原防災安全課長** 失礼いたしました。今のところ全世帯全てということではございませんで、広報よなごの配付ルートに合わせて配付する予定にしております。以上です。

○**岡田分科会長** 大野原課長。

○**大野原防災安全課長** 度々失礼いたします。当初自治会に配付する予定にしております、状況に応じて増刷をして全戸配布する考えを持っております。以上です。

○**岡田分科会長** 森田委員。

○**森田委員** ありがとうございます。多分市内全体で6万8,000世帯強ぐらいあると思うんですけど、じゃあ、2万1,000世帯ぐらいの方はちょっとまだ配付がされないみたいところで、逃げ遅れゼロの実現を図るのであれば、もう全市、全世帯に配付するべきだと思うんですけども、その辺りいかがでしょうか。

○**岡田分科会長** 大野原課長。

○**大野原防災安全課長** 委員さん、御意見ありがとうございます。現在の構想では取りあえず自治会のほうに配付した上で、今後このノートの内容について変えていったりとか、そういった視点も持っておりますので、現状まずもって自治会のほうに配付した上で、今後の展開によって全体に配付するといったことも想定しておるところでございます。以上

です。

○**岡田分科会長** よろしいですか。

森田委員。

○**森田委員** ありがとうございます。じゃあ、配られない世帯への対応しては今のところ特に何かするわけでもないというような認識でもう問題なかったでしょうか。

○**岡田分科会長** 大野原課長。

○**大野原防災安全課長** 紙ものはそういった形で配付をいたしますが、ホームページ等に電子ものを載せまして、自由にそれを印刷していただいたりとか、詳しい記載内容等も解説をそれにつけて周知してまいりたいと、そのように考えております。以上です。

○**岡田分科会長** よろしいですか。

そのほかありませんでしょうか。

松田委員。

○**松田委員** 債務負担行為のところ、西部総合事務所と糶町庁舎の整備なんです、令和2年度末に契約されて、そんなに時間がない中で、債務負担行為限度額が増えたという印象なんです、その上昇の主な中身、労務費と資材費等があると思うんですが、大体おおむねどのようなバランスで上がっておられるのか分かりますか。

○**岡田分科会長** 泉原調査課担当課長補佐。

○**泉原調査課担当課長補佐** 労務費とそれから材料費の値上がりについてということでございますけれども、人件費も工事種別によりましてちょっと異なるところがございますが、おおむね5%ぐらいの増加というところ、2%から5%ぐらいの人件費増加というところがございます。材料費につきましては、金属製品を中心に非常に上がっておりまして、ちょっとパーセンテージまでは出しておりませんが、かなり増加しております、高騰額の大きな部分を占めているというところでございます。

○**岡田分科会長** 松田委員。

○**松田委員** 今回3,600万ということで、今後短い期間でまた工事費が、設備費ですか、施設整備費が上昇するっていう可能性についてはどの程度お話をされてるのでしょうか。

○**岡田分科会長** 足立調査課長。

○**足立調査課長** 今後の見直しについてということでございますけれども、新棟の資材発注は、10月にその大部分が終わる見込みであることから、施設整備費に関しましては資材高騰に係る追加の予算措置は今回限りというふうに考えているところでございます。ただし、今後さらに予想を大きく超えるような一層の物価高騰がございました場合には、対応を検討する場合がございますが、このたびの物価高騰ではこのたびが最後だというふうに考えているところでございます。以上です。

○**岡田分科会長** 松田委員。

○**松田委員** そうすると、資材費の高騰が主な部分で、今後、資材の発注もう終わってるので、短い期間でまた増額するっていう可能性はかなり薄いという認識でよろしいのでしょうか。

○**岡田分科会長** 足立課長。

○**足立調査課長** 委員おっしゃるとおりでございます。

○岡田分科会長 松田委員。

○松田委員 理解しました。

○岡田分科会長 そのほかありませんか。

〔「なし」と声あり〕

○岡田分科会長 ないようですので、以上で総務部所管部分の審査を終わります。

予算決算委員会総務政策分科会を暫時休憩いたします。

**午前 10 時 25 分 休憩**

**午前 11 時 35 分 再開**

○岡田分科会長 予算決算委員会総務政策分科会を再開いたします。

予算分科会長報告のための意見の取りまとめを行います。

御意見がありましたら発言をお願いいたします。

〔「なし」と声あり〕

○岡田分科会長 それでは、特になかった旨を報告させていただきます。

次に、決算分科会長報告に関する協議を行います。

お手元に配付しておりますのは、16日の決算分科会で発言のありました委員から提出していただいたものを取りまとめたものでございます。

いかがでしょうか、何か修正。

伊藤委員。

○伊藤委員 すみません、私、男女共同参画センター運営事業について書かせていただきましたけれども、ちょっと文章が重複しているところがあって、少し修正させていただきたいのですが、いいですか。

○岡田分科会長 どうぞ。

○伊藤委員 じゃあ、読み上げさせていただきます。本来、男女共同参画センター運営の目的は、女性問題の解決、女性の地位向上、女性の社会参画で、女性が抱える問題全般の情報提供、相談、研究など実施していると認識している。平成15、2003年設置から19年経過し、市民の活動拠点としての役割や、交流を支援するという場は現在旧庁舎にあり、バリアフリー整備や駐車場がないなど苦情がある。また、その登録団体数や利用者も年々減少傾向にあることから、センター設置の目的や、その効果を明確にされ、米子市民の課題解決に向けたセンターの役割への転換を図りたい。以上です。すみません。

○岡田分科会長 そうしますと、それ一度、文書に、先ほど伊藤委員が言われたことを文書にさせてもらって、それでまた、皆さんに見ていただくというような形でよろしいですか。

○伊藤委員 ありがとうございます。お願いします。

○岡田分科会長 おおむね、先ほど伊藤委員が読まれたことに関して、いや、ちょっとここはこうじゃないかみたいなことが、もし今分かるのであれば、発言をお願いしたいと思います。

〔「なし」と声あり〕

○岡田分科会長 ないですか。

それでは、じゃあ、先ほどの伊藤委員の読まれたことも踏まえて修正をかけさせていただいて、それで、もう一度皆さんに見ていただくということでもよろしいでしょうか。いい

ですね。

〔「はい」と声あり〕

○岡田分科会長 ほかにありませんか。ほかのことに関しては。

〔「なし」と声あり〕

○岡田分科会長 なし。

それでは、そのような形で取りまとめをさせていただきたいと思います。

以上で予算決算委員会総務政策分科会を閉会いたします。

**午前 11 時 38 分 閉会**

米子市議会委員会条例第 29 条第 1 項の規定により署名する。

予算決算委員会総務政策分科会長 岡 田 啓 介